

下鴨少年補導委員会
松ヶ崎支部

発行責任者
支部長 北川 憲一

松ヶ崎少年補導だより

「ナビと地図」

松ヶ崎小学校 PTA 会長

藤木 壮二

「カーナビゲーションシステム」
地図を持たなくても、目的地まで案内してくれる便利なツールのことですが、私が、初めて自家用車を買った当時は、まだまだ一般的ではなく、本屋さんで道路地図を買い求め、目的地までのルートを予め調べ、細かな道路情報や信号の数を数え「五つ目の信号を右折してすぐに信号のない変則三叉路を左にとって……」などやっていました。

また途中、地図を読み違えたり、道を間違えたり、渋滞に巻き込まれたり、予測し得ない道路工事で迂回を余儀なくされることもしばしば……。そのたびに、地図を広げて他のルートを調べ、また人に聞きながらやつの思いで目的地に到着したなんてこともよくありました。当初は、目的地に到着することがひとつの目的でした。なんとアナログで経験則や勘を頼りに運転していたなあとと思います。

おかげで今では、「あそこに行くなら平日のこの時間ならあのルートが一番早くいける。」「あそこに行く途中の○△□付近は、休日でも混雑しているけれど抜け道があるから大丈夫！」なんてことを想像しながら運転しています（当たり前ですが）。

ですが今や、カーナビ時代。目的地を画面上で設定すれば、渋滞情報も加味して最も合理的なルートを選択し、画面を見なくても音声で「百メートル先左折です。」なんて誘導してくれますし、到着時間までカーナビが割り出してくれます。万が一ルートから外れても、また目的地までのルートを再検索してくれますし、どこにいても目的地まで労せず到着することが出来ます。おかげで目的地に到着することは手段になり、効率的に目的を達することが出来るようになりました。

れば助かるなあつと思うことがあります。……が、そうはいきません。

特に人生の後輩である我々の子供達は、これから学校を卒業し、社会に出たなら自らの地図を片手に進路を決めなくてはなりません。いずれ先立つ我々がいつまでも道案内をすることは出来ないのです。

親として現段階で子供達が抱える問題に対し最短ルートを示すことは容易く出来ると思います。しかし、それは子供達が大切な経験を積む機会を、奪っているかも知れません。子供達には、自ら地図を頼りに迷ったときの対処方法などを身につけて欲しいと思います。そして正直にしている欲しいと思っ

迷うかもしれません。事故に遭遇するかも知れません。トラブルに巻き込まれるかも知れません。しかし、そこで逃げたり、自らを取り繕ったりするのは却ってよい結果にならないように思います。周囲から見ればいい子でしょうが……。今だからこそ経験出来ることがあると思います。そしてそれらは確実に生きる力につながっていくと思います。我々が、親達にしてもらったように、子供達にはナビだよりではなく自分の力で目標に向かう力をつけることが出来るよう見守りたいと思います。



正田町 S.S. さん

さしのべる 手のぬくもりを どの子にも

子どもたちを見守るたくさんの目

京都市松ヶ崎児童館
館長 横内智美

地域の皆様には、日頃より、児童館の活動に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

松ヶ崎少年補導委員会は、「子どもたちの命と健やかな育ちを脅かすものに対しては毅然とした態度と積極的な行動をとる」ことを重点目標の一つとして活動されています。地域の子どもの健全育成に多大のご尽力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

当児童館は毎日、午前中は主に乳幼児と親子の、また午後からは学童クラブの子どもたち、さらに地域の子どもの元気な声につつまれ、活気に満ち溢れています。しかし近年、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化し、子どもたちに関わる課題も非常に複雑化しています。新聞を開けば、連日のように目にする児童虐待の記事には、とりわけ心が痛みます。

ひと昔前であれば、地域の中でお互いを理解し、共に支え合う関係ができていたように思うのですが、現在、それが大変難しくなっているようです。その要因の一つに、地域社会や

家庭の空洞化が進んでいることにあるように思われます。そのために、地域の中で子育てというものが見えにくくなっています。核家族世帯が増え、各家庭における子育てが孤立化し、育児不安をかかえる母親が増加しています。重度のストレスを抱え、親自身の問題行動も少なくないようです。

子どもたちの健やかな成長発達を保障すると同時に、親の世代を取り巻くさまざまな困難・課題を解決しながら、親自身の成長も支援することが大切です。何より親子のこころの風通しを良くする必要があるように感じています。地域で育つ子どもたちを見守る目が、地域に多ければ多いほど、子どもたちにとって良い環境である

ると言われています。

松ヶ崎地域におきましては、少年補導委員会の皆様をはじめ地域の皆様、暖かい日々を見守りや、多様な価値観や人間観を学び合う、世代を超えた交流を大切にしながら、さまざまな取り組みがされています。その中で、地域に暮らすお一人おひとりの目が子どもたちに向けられ、見守っていただいていることを、大変有難く思っています。

そのような見守りの中でこそ、保護者の方も安心して子育てができ、また、ゆとりを持って穏やかに子どもたちと向き合うことができるのではないのでしょうか。

「大人が笑顔になれば、子どももまた笑顔になれる」
大人も子どもも笑顔が絶えないよう、子どもたちが多様なあそびを通して豊かな経験を積み、生きる力を育み、心身ともに健やかに成長できますよう、今後とも地域の皆様と連携を深めてまいりたいと切に願うものです。

窓

おやじの会に入って知った松ヶ崎

今西謙介

松ヶ崎おやじの会

今西謙介

六年と四カ月を香港で過ごし、昨年三月に家族共々松ヶ崎に引越して参りました。香港の超高層ビルが立ち並ぶ近代的な街並みの

中で人工の公園、コンクリートの中で、子供が遊び、成長していくことに不安を感じていた為、自然が多く子供をのびのび育てられる

環境として松ヶ崎に住ませて頂くことにしました。

香港には日本人約二万五千人が駐在し、日本人小学校二校、中学校は二校があります。学校行事・地域行事共に少なく、父親が参加できる機会は殆ど有りません。帰国当初は日本でも同様に学校行事に父親が参加できる機会はありません。豊かな自然で子供を教育出来る事の喜びのみを感じておりましたが、住み始めるにつれ、地域の方と出合い、また好機に恵まれ、新参者である私を松ヶ崎小おやじの会に加えて頂けた事により松ヶ崎の魅力を更新に知ることが出来ました。

おやじの会のメンバーとして、「ホテルを探して街歩き」、「飯ごう炊さん」、「学校に泊まる会」、「体振・夏祭り」、「区民運動会」、「餅やき会」、「秋祭り」、工芸繊維大の「松ヶ崎祭り」に参加しました。行事開催にあたり、小学校の先生、PTAの方々だけでなく、消防団、体振、工織大の先生と学生といった実に多くの方々の協力があつて行事が開催出来ること、そしてその行事が子供たちを楽しませる事に主眼を置きながら、安全面の配慮、子供達へ何を伝えられるかなどを十分に協議した上で、役割分担の決定をし、行事に臨んでいく事、行事中はメンバーの方が役割をこなすだけでなく、状況に応じて機敏に動く姿勢があるこ

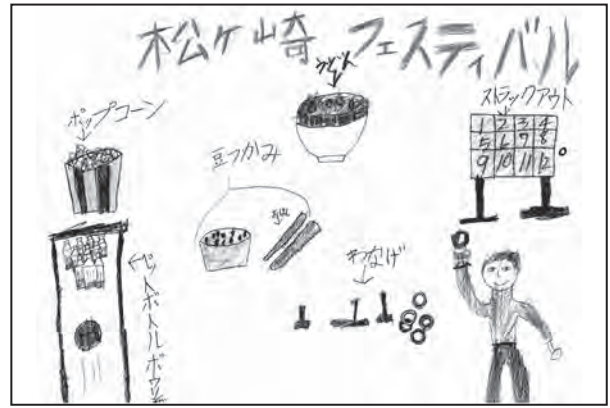
とで無事に行事を終えられる事など実に沢山の事を学びました。

子供たちも素直で明るい子供たちばかりで、イベントに参加すると一緒に遊んでくれます。ルールを守り、何事も一生懸命してくれます。

おやじの会のメンバーは真面目で、子供心を残し、松ヶ崎地域で役に立とうと考えている人たちはかなりです。その中で子供と一緒に成長できればと思っています。

私は来年度の松ヶ崎おやじの会の副会長を務めさせて頂くことになりました。松ヶ崎の妙法山、高野川の自然の中で子供達に楽しんで貰える行事の充実と地域の為に頑張りたいと思います。また、おやじの会として伝統行事に参加をさせて頂き、伝統行事を継承していく一役を買わせて頂ければと思います。





松ヶ崎フェスティバルに行き
ました。
まず最初にうどんを
食べました。
次に豆がみをしました。
ポウリブクをしました。
ろびんしかとあませんで
した。
ストラックアウトはせん
せん占をとりました。
輪投げはこしかとれ
ませんでした。
楽しかったです。
来年もまたきたいです。
みんなも来てくだせい。

ぼくは松ヶ崎フェスティバル
にぼくの入っている野球チ
ームのみなと行きました。
遊んだりへ良かったり……
すごく楽しかったです。
ですから、松ヶ崎フェス
ティバルをみんなにはうか
いしたくなりましました。
来年も行きたいです。

文：松ヶ崎小学校 5年2組 土堅永貴
絵：松ヶ崎小学校 5年2組 土堅永貴・神内隆伍

文・絵：松ヶ崎小学校 5年2組 山中天太

子供フェスティバル (11月3日)

うどんコーナー ゲームコーナー しめなわコーナー 消防団のコーナー

PTAの方のコーナー 平安騎馬隊 ロックライミング 京都工芸繊維大学のコーナー

などで楽しい一日を過ごしました。



平成二十二年
度
表彰受賞者

平成二十二年度の受賞者は左記の方々です。おめでとうございます。

受賞者の皆様のさらなるご活躍とご協力を祈念いたします。

京都市少年補導委員会
会長表彰

- 金賞 高田 三津子
- 銅賞 刀襦 節子

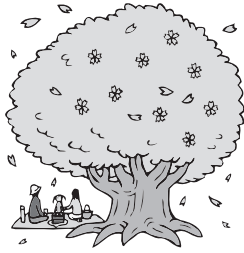
- 町田 加代美
- 井上 規子

勳統三十年

- 古村 宸 治

下鴨単位少年補導委員
会長表彰

- 下鴨優良補導委員
- 角井 雄 二
- 半井 達 弥



支部活動
状況報告

前号に引き続き、当支部のその後の活動状況につき、ご報告いたします。

- 1 九月三十日 松ヶ崎少年補導だより第五十一号を発刊し、三〇〇部を印刷、市政協力委員さん、隣組長さんらのご協力により、全世帯、関係機関に配布いたしました。
- 2 十月三日 第五十六回区民運動会に協賛参加いたしました。
- 3 十月十三日 支部役員会 第二十五回子供フェスティバルについて、催し内容や役割分担について検討いたしました。
- 4 十月二十四日 京都アスニーにて行われた表彰と研修会に出席いたしました。
- 5 十月二十六日 支部役員会 第二十五回子供フェスティバルについて催し内容、役割分担の最終確認を行いました。
- 6 十一月三日 第二十五回松ヶ崎子供フェスティバル 第二十五回を記念して平安騎馬隊に来て頂き、楽しい一日となりました。
- 7 十一月十六日 支部役員研修会及び懇親会をアピカルインにて行いました。フェスティバルの反省や来年に向けて話し合いました。
- 8 十一月十六日 標語掲出 七月に選出された非行防止標語を校区内に掲出しました。
- 9 十一月二十一日 京都工芸繊維大学学園祭構内パトロール
- 10 十二月五日 国立京都国際会館で行われた表彰伝達式、並びに委員研修会に参加しました。
- 11 十二月十二日 落書き消し昨年と同じく、ガードレール・電柱・看板等の落書きを消したり、貼り紙を剥がしたり致しました。
- 12 一月十日 アピカルイン京都で行われた松ヶ崎消防分団出初式に出席しました。
- 13 一月二十二日 松ヶ崎児童館主催のおもちつき大会のお手伝いをしました。
- 14 三月三日 松ヶ崎少年補導だより第五十二号の編集会議を行いました。

その他、青色回転灯装着車によるパトロールを不定期に行っています。

また、毎月第四金曜日に古紙回収を行っています。皆様のご協力に感謝いたします。

以上ご報告申し上げます。
支部長 北川 憲一

薬剤でふいて…
コテではがして…



きれいになりました。

